

出前講座報告書

Vol.1

日 時: 2016年9月21日
開催場所: 県中保健福祉事務所

テーマ

「話し合いに活かすファシリテーションのコツ」



ファシリテーションは、組織や地域の話し合い、研修等で参加者が主体的にテーマに向き合い、問題解決や学習内容の習得にいたるまでの道筋を組み立てるための技術です。技術といっても、環境を整え内容を分かりやすく明示することや、話し合いをしやすくするための工夫など、参加者への思いやりがキーポイントとなります。

講義の様子

90分のコースで、講義の合間に2つのワークを挟み、皆さん積極的に参加して下さいました。前半はアイスブレイクから始まり、ファシリテーションの概念、歴史、活用場について解説しました。後半は話し合いや研修を進める上で困ること、ファシリテーションの4ステップ、ファシリテーションのコツ等について解説しました。



講師紹介



1970年 東京・赤羽生まれ

1997年 看護師免許取得

2003年から慶応義塾大学医学部シミュレーションラボ管理者として医療教育に従事。この時からシミュレーション教育を通じてファシリテーション技術を体得。

2012年から東日本大震災後に設立された福島県立医科大学災害医療総合学習センター助手。

趣味：キックボクシング

福島県立医科大学
医療人育成・支援センター
助手 安井 清孝



グループワーク



3グループに分かれ、話し合いをまとめるのがうまい人をイメージしてもらい、その人のどういう点が優れており、その優れた点を習得するためにはどうしたらよいかということについて、マトリックスを活用して考えました。

復習ポイント

アンケート集計

参加者は17名、アンケート回収は16名でした。

評価項目	(そう)思う(※)
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	94%
時間配分は適切だった	81%
進行は適切だった	94%
研修の内容について	
講義内容について理解できた	94%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	94%
話し合いは今後の活動に役立つと思う	94%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	94%

* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

- ・ファシリテーションの4段階は？
- ・発言を引き出すためのポイントは？
- ・優先順位をつけるためのツールの例は？

編集後記

本年度初めての出前講座は、新しいテーマであるファシリテーションから始まりました。実用的な技術を、たくさんの演習が入った講義で、とても楽しく学ぶことができました。このテーマは出前の人気メニューになりそうです。(後藤)

Organized by FMU



性差医療センター
災害医療総合学習センター
医療人育成・支援センター
総合科学教育研究センター
公衆衛生学講座

本ニュースレターのデザインはご当地シリーズです。

出前講座は「福島県保健師現任教育指針」の枠組みで行っています。

